

1 年月日	令和7年4月24～25日(日数 1泊 2日)
2 場所	全国市町村国際文化研修所
3 視察・研修事項	防災と議員の役割
4 面接者	
5 視察研修、研修会の成果 本研修では、過去の災害の教訓を踏まえた地域防災計画のあり方や、平時からの防災意識・地域連携の重要性について学びました。講義に加え、演習では双方向型の研修を実施し、現在の防災対策に関する諸課題や、議会および議員として果たすべき役割について考える機会となりました。 特に、地区防災計画について詳しく学ぶことができた点が非常に有意義でした。防災はすべての住民が関わるべきものであり、その仕組みをまちづくりにも活かせるという視点は大変参考になりました。 また、「議会」と「議員」として求められる役割が異なるという点を実感し、参加者同士で共有できたことは今後の議会活動においても重要な視点となると感じました。 さらに、災害時に議員がどのように行動したのか、具体的な事例を通じて学べたことも大きな収穫でした。 災害はいつ発生するかわからず、市民の皆さまの防災意識や関心も年々高まっています。行政への働きかけを行うことはもちろんですが、自助・共助の意識を高めていくための啓発や研究を今後も継続していくことが重要だと改めて感じました。	